

私保達しませね No.44

Contents

- 特別寄稿.....2
- こんな活動やってます.....4
- キャリア先生の紹介.....6
- 平成29年度各部活動報告...8

子どもの育ちを支える
～保育リボン～



今日は ハロウィン!

ハロウィンは古代ケルト人が起源と考えられるお祭りで、10月31日に秋の収穫を祝い悪魔などを追い出す行事です。

波子保育所では4年前から子どもたちが手作りの衣装を身に付けて町を歩きます。たくさんの方が子ども達の可愛い姿を見て声をかけて下さいます。これからも地域の方との触れあいを大切にしていきたいと思います。
波子保育所 所長 中村 文子



特別寄稿

若い保育者のみなさんへ

「あるもの」を使い、考え工夫する保育と、語り合い

島根大学大学院教育学研究科教授 原 広治



ここでいう保育者とは、保育士、栄養士、調理師、看護師、事務職等々、保育の場で、子どもたちやその保護者に対し自らの持ち味を活かし、果敢に関わる人たちのことである。

保育に携わっていると、ある事柄についていくら考えても、自らの「解」に辿り着けないときがある。保育者を生業としたとしても、最初は誰も素人なのだから、困って当然、うまくできなくて当然である。がしかし、そのままの状態で時間を過ごすのではなく、「何とかしたい」と考え工夫していくことで、保育という営みの深さと面白さをさら

を得るに違いない。

に味わうことになる。困った状態のとき、先輩や同僚、あるいは保護者を頼り、語り合いを通してわかろうとする姿勢はとても素朴であり、その風景からは力動感が感じられ、見ていて清々しい。情報が溢れ、少し調べればすぐに「解」らしきものに到達してしまう今の時代にあっても、保育はそんなに単純ではなく、「解」はすぐに見つかるものではない。自らの困りを意識し、それを自らへの「問い」と化して何とか解決したいとあがき、語り、実践し、振り返ることを繰り返しながら、「実感として」わかることにつながるのだと思う。そして、そこから多くの学び

他者との語り合いを通して「わかる」のは「知ってわかる」状態である。書物などから得た情報をもとに考え理解するのも、このレベルである。知ってわかった知識を踏まえて実践することで得られた「わかり」は、「やってわかる」のレベルである。頭でわかったつもりでやってみても、上手くいかなかった例は枚挙にいとまがない。実践してみても、実践して初めて、関わりのコツをつかむこともある。先輩や書物の「ことば」の意味がわかることもある。悩み、あがきながらの実践の手

応えは大きい。そして、知ってわかったことや実践したわかったこと(気づき、考え、捉え、そのときの双方の思い...)を他者に伝えることで、より深い「わかり」となる。自分がわかっていいることや感じたことしか他者には伝えられないし、相手にも伝わらない。しかも自分の内にある「ことば」を駆使して伝えるしかない。そんな「ことば」は、毎日の一つ一つの「体験」をそのまましておかないで、「意味」を付与して「経験」に落とし込み、実践知(経験知)に導きながら他者に伝えていくことで、より研ぎ澄まされていくのだらう。この一連の「ことば」づくりが「考え、工夫すること」といえる。

哲学するとはどういうことを日常のわかりやすい「ことば」で語る池田晶子は、『知ることより考えること』において、「本当に知りたいのなら、多くの情報を外から得るのではなく、自分で考えていくことだ」と語りかけている。これは、「私たちに「ないもの」を求めすぎず、まずは「私たちに「あるもの」を使って考えることの大切さを伝えていくが、翻って考えれば、保育における関わりに

もいえることだろう。つまり、保育とは、単に、子どもに「ない」もの(子どもができないこと)を見つけ、それを「ある」ように(できるように)していくことではなく、子どもに「ある」もの(できていること)で考え、それらを使いながら「今」を生きていくことが大切ではないかと。

私たち大人も、明日つかむかもしれない力を待って今日を生きているのではなく、今ある力でもって何とかやりくりしながら生きていく。その、「何とかやりくりしながら」が重要であり、そこに考えや工夫が存在する。

私が新採だった昭和の終わりのころ、多くの学びを得たのは、身近におられた先輩が「伝えて」くださる機会(話し込む時間)だった。伝える(話す)といっても、私からの問いに対する「解」は何も言われなかった。ただ、「(他者の話を聴き、他者の様子を見て)自分で感じる。自分で考える。そこに今のお前の『解』と『課題』がみえてくるはず」と言われ続けていた。

昨年、県私保連青年部が企画された「若手保育士研修」に参画させていただいて

いる。会場では、私からの話題提供の後にじっくり考え、語り合うことで、実に多彩な考えや意見が噴出し、大いに議論が盛り上がった。なかには若手らしいユニークな発想もあるが、考え、伝え合うことで知的好奇心が沸き立てられ、相まって明日からの保育に向かう勢いがより高まる雰囲気がある。

保育者としての道は始まったばかり。まだまだ、わからないことだらけのことだろう。大いに悩み、困ることもあるだろう。しかし、先は長い。その間、こちらには、みなさんの悩みや困りに応える用意がある。「解」が簡単には見つからない保育を、共に考える仲間がいる。組織がある。そんな保育環境で周りに果敢に関わり、子どもたちを育み、保護者との協働や自分自身の成長を語り合おうではないか。



英語とお花の活動を通して豊かな感性をはぐくむ

安来市立城谷保育所 保育士 浅井晶子

当保育所では、平成27年度より毎週火曜日に英語のレッスンを取り入れた保育を行っています。

イギリス人の先生に来て頂き、歌をうたったりゲームをしながら楽しい雰囲気の中で英語に親しんでいます。レッスンを始めた頃は「明日もある?」「毎日英語があればいいのにね」と英語の時間をとても楽しみにしていました。その気持ちは現在も続いており、先生の姿を見つけると「〇〇先生～」と大きな声で呼び、帰られる時には握手やハイタッチをして先生の周りに集まります。

先生との時間そのものにとってもわくわくしています。英語を学ぶことを通して『わくわく感』を感じ、楽しみ、意欲へとつながっています。そこから生まれる異国への関心・興味は、子どもたちにとって大きな財産になるのではないかと考えています。

そして、もうひとつは十数年間習っている生け花があります。(月に一回)

先生の話聞きながら、花の匂いを嗅いだり、花を見て「きれい!!」「かわいい」と興味を持ち始め、ひとつひとつ丁寧に花を生けていきます。

初めて生け花を体験した日は花を切る長さが心配で「ここでいい?」と何度も先生に確認していました。しかし、今では自分の判断で切ることが出来るようになりました。「上手に生けたね」と褒められると、子どもたちはみんな嬉しそうです。花の先生の花展や地域の文化祭に展示をし、たくさんの皆さんに見て頂いています。生け花を通して花を大切に扱う気持ちが生まれ、花の名前を覚えるなど、花に対する感性を育てています。又、生け花を写生し、花の位置等を先生と共に確認し、次回へとつなげています。その後、生けた花は家庭に持ち帰り、生け花を囲んでいつもとは違う親子の会話も生まれるのではないかと考えています。

この二つの活動『英語』『お花』を習うことを伝統とし、保護者の皆様にも喜んで頂いています。



やっ
つ
て
ま
す

こ
ん
な
活
動



祖父母とほっこり!お正月遊び&餅つき交流会

のぞみ保育園 園長 松嶋寿枝

のぞみ保育園は、平成5年に開園し現在、128名の子ども達が通っています。『げんきいっぱい えがおいっぱい』をモットーに、様々な人とのふれ合いの中で、思いやりのある優しい子どもに育てほしいと日々、心を育てる保育を目指しています。

我が園では、世代間交流の一環として年に2回、花まつり(お釈迦様の誕生日)とお正月遊び&お餅つき会を祖父母との交流会にしています。カルタ・すごろく・凧あげ・こままわし・羽根つきなどのお正月遊びを一緒に楽しみ、お餅つきでは、かけ声と共につくところから丸めるところまで手とり足とり教えて下さいます。竹馬やお手玉を手作りして持ってきて下さる方もおられます。こま名人に得意技を披露していただくと子ども達からは大歓声!

終始笑顔で、自分のお孫さんだけでなく、誰にでも優しく手をさしのべ遊びを盛り上げて下さいます。いつも感じることは、祖父母との交流会は、なぜかほっこりした空間とゆったりとした時間の流れに和やかで心地よい雰囲気を感じながら子ども達が過ごします。心の余裕と言ったところでしょうか。

だんだんとおじいちゃん、おばあちゃんの年齢層が若くなり、お餅つきも、つきてや臼とりのできる方が減ってきているのを感じます。が、伝統的な行事や昔ながらの遊びと一緒に楽しむことで、子ども達が人とのふれ合いの中で豊かな経験をすることが大切だと感じ、これからも続けていこうと思っています。

キャリア先生の紹介

第3ブロック 因原保育所 上田 智子 先生



今年で9年目になる笑顔が素敵なキャリア先生を紹介します。
 この先生のいる因原保育所は島根県のほぼ中央にあり、現在園児数32名のアットホームな保育所です。そこで、2・3歳児クラスを担当しているのが上田智子保育士です。
 いつも声が高らかで、子ども目線に立ち、一緒になって考え、一緒になって笑い、一緒になって悩み、一緒になって遊ぶので子ども達も先生のことが大好き!!先生の周りにはいつも子どもたちが『せんせー!』『こっち来てー!』と集まってきます。
 ダンスが得意で、音楽がかかると自然と身体が動き出し、キレの良いダンスを披露してくれます。それを見て子どもたちも一緒になって踊りだします。
 そんな上田保育士!!こう見えても剣道経験者!もちつき会の行事の時には剣道の腕を生かし、もちつきのペタンペタンという良い音をホールに響かせてくれます。
 これからも、保育所に明るい声と元気を振りまいてくれることでしょう。

(主任保育士 竹下 美穂)



第4ブロック 浜田ひかり保育所 小川 七恵 先生



子育てに追われ職場復帰は無理・・・と言っていた小川七恵先生が、やっと浜田ひかり保育所に帰って来てくれました。「blankがあるからついていけるかなあ?」との不安をよそに、フリーという立場で園全体に気を配り、泣いている子や困っている子に「どうしたん?困ったねえ」と寄り添う、優しい笑顔のあふれる先生です。
 お迎えに来られる保護者の方にも、クラスの垣根を越えて「スリッパを揃えてくれてうれしかったよ」「小学校のお兄ちゃんが保育所の前を元気に登校していたよ」など小さな発見を伝える先生の姿に、親御さんと同じ目線に立って子育ての喜びや悩みを分かち合うことの大切さを改めて感じさせられます。
 子供たちとの散歩で「年だわ〜足があがらん・・・」なんてこともありませんが、子どもと大爆笑しながら遊ぶ先生の満面の笑顔にいつも元気をもらっています。仕事と家庭の両立を実践しながら頑張り続ける小川先生を、みんなで応援しています。

(主任保育士 佐々木 万利)



第1ブロック シオン保育園 坂田 優子 先生



「スオスダイ!」3年間のJICAシニア海外ボランティアの任期を終え、復職された坂田優子さんにまず初めに教わったのはこの言葉でした。もう12年前のことになります。発展途上国と言われる国の『幼児教育』育成のための派遣でした。「カンボジアに行こうと思う!」と初めてお話を聞いた時、「それどこですか?」くらいの知識しかなかった私ですが、休暇で帰国する度に聞く異国の子どもたちの現状に言葉を失いました。
 それと同時に、今私がこの日本で子どもたちに伝えていくべきことは何だろうかと深く考えさせられました。半年間の復職ののち、坂田さんは再びカンボジアの地に旅立ちました。そこでまた2年間の働きをされ、その後はネパールで2年間。
 『自分の知識や経験の全てが通用する場ではないことを念頭におき、相手の全てを受け入れ、お互いに認め合う』坂田さんが7年間の海外ボランティアで感じられたこと、それは日々小さな子どもたちと向き合う私たちが最も大切にしなければならないことではないでしょうか。生きていくことに必死な子どもたちから学ばれた経験を、これからも私たちにしっかりと伝えて頂きたいと思っています。
 最後になりますが、初めてご紹介した「スオスダイ」とは、カンボジア語で『こんにちは』という意味です。

(主任保育士 小谷 美也子)



第2ブロック 中部保育園 金森 幸子 先生



中部保育所のキャリア先生、「金森幸子先生」を紹介します。
 「優しい・溫和・やわらか」、これは金森先生が醸し出す雰囲気や言葉に表したものです。先生と接すると、包み込まれるような安心が感じられ、子どもたちは先生が大好き!まさに「金森マジック」です。私たち職員も金森先生と仕事することで穏やかな気持ちや楽しさを感じたりでき、まさに癒されます。
 また、子どもの思いをくみ取ったり、興味に沿った遊びを提案したり、今までの経験を活かした保育には学ぶべきことが多くあると感じます。相手の距離感に応じてさりげなく少し離れた場所から見守る、でもいざという時はそばにいる、という簡単なようで難しいことをあたりまえにできる先生です。
 結果を急いでしまう時代だからこそ、金森先生のような保育者が子どもや保護者とかかわる大事さを痛感しています。
 毎日、素敵な先生と一緒に仕事をしていることに感謝です!

(所長 山根 順子)



平成29年度各部活動報告

予算対策部 部長 堀江 泰誠

全国私立保育園連盟予算対策委員会関係			
第1回	日 時	平成29年7月25日(火)	
全国私立保育園連盟	会 場	参議院議員会館	
予算対策委員会	出 席 者	堀江予算対策部長 川上予算対策副部長	
第2回	日 時	平成29年12月20日(水)	
全国私立保育園連盟	会 場	参議院議員会館	
予算対策委員会	出 席 者	吉田会長 堀江予算対策部長 岩倉事務局長	
全島根県保育三団体関係			
○県担当課との意見交換会	日 時	平成29年4月7日(金)	
	会 場	浜田合同庁舎501会議室	
	内 容	保育士等に対するキャリアアップ研修と処遇改善について 保育士確保・定着事業について他	
	出 席 者	吉田会長 相山副会長 清水副会長 堀江部長 志田尾副部長	
○保育三団体代表者会議	日 時	平成29年7月3日(月)	
	会 場	浜田ワシントンホテルプラザ 2階すみれの間	
	内 容	要望項目(案)の作成について	
	出 席 者	吉田会長 南場副会長 岡崎副会長 櫻井副会長 堀江部長 川上副部長	
○県担当課との意見交換会	日 時	平成29年8月21日(月)	
	会 場	島根県庁 本庁舎 6階講堂	
	内 容	要望項目について	
	出 席 者	吉田会長 南場副会長 岡崎副会長 堀江部長 川上副部長	
○保育振興議員連盟総会、懇談会	日 時	平成29年9月13日(水)	
	会 場	島根県議会議事堂別館1階 大会議室	
	内 容	平成29年度 保育三団体要望について	
	出 席 者	吉田会長 南場副会長 堀江部長 川上副部長	
○島根県保育三団体陳情	日 時	平成29年10月31日(火)	
	会 場	県庁知事室・県議会議長室・県健康福祉部長室	
	内 容	平成29年度 保育三団体要望について	
	出 席 者	吉田会長 南場副会長 川上副部長	
○第2回保育三団体代表者会議	日 時	平成29年12月5日(火)	
	会 場	浜田ワシントンホテルプラザ 2階すみれの間	
	内 容	島根県保育三団体の活動について	
	出 席 者	吉田会長 南場副会長 堀江部長 川上副部長	
○第3回保育三団体代表者会議	日 時	平成30年1月26日(金)	
	会 場	浜田ワシントンホテルプラザ 2階すみれの間	
	内 容	島根県保育三団体の活動について	
	出 席 者	吉田会長 南場副会長 岡崎副会長 堀江部長 川上副部長	
請願署名・カンパ活動			
請願署名：17,934名(114園分) カンパ金額：798,978円(108園分)			



「日本の保険の常識を変えていく」

2018年1月1日、AIUは富士火災と経営統合し、
AIG損保として新たなスタートを切りました。



AIUが日本市場において、71年にわたり外資系損害保険会社として培ってきた専門性や経験・ノウハウと、富士火災が99年にわたり築き上げた全国ネットワークや経営資源、そして両社の人材等を融合し、新たな一歩を踏み出します。

AIG損保は、日本におけるAIGグループの事業戦略コンセプトである「ACTIVE CARE」に基づき、経済的補償を重視した従来の保険商品の役割に加え、お客さまの不安を少しでも和らげられるような新たな保険のあり方やサービスを提唱してまいります。

先進的なテクノロジー、グローバルで蓄積されたノウハウ、そして国内市場に関する深い知見を活かしてイノベーションを起こし続け、お客さまにとって最も価値のある保険会社を目指してまいります。これからのAIG損保にご期待ください。

AIG損害保険株式会社 松江支店

〒690-0006 松江市伊勢宮町519-1 松江大同生命ビル6階 <http://www.aig.co.jp/sonpo>
TEL 0852-26-2781 受付時間 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2011年7月27日発令「社会福祉法人会計基準」
対応システムとサービスのご案内

CHAPPY.12

とにかく
安心

とにかく安心。保育課程が専門です。
弾力運用も含めて決算処理まで、
お手伝いします。

なにより
早い

訪問するよりも早い。
先達のリモートメンテ！
いつでも対応する事が出来ます。

いつでも
対応

いつでも対応。御相談 カスタマサポートセンターが、きめ細かいサポートを実現します。

より専門性
を求める
園様には

決算業務から研修会の企画・開催まで、
より専門性を求める園様には、関連企業
株式会社協賛型サービスをご紹介致し
ます。どうぞお気軽にご相談ください。

株式会社 **チャイルド社** コンピュータ部 広島営業所 TEL.082-581-3170
〒734-0023 広島市南区東区町 3-4-3 セントラルハイブ中山102

新会計も新チャッピーに おまかせください!

青年部 部長 岩倉善光

平素から青年部の活動にご理解とご協力を賜りありがとうございます。

今年度の活動として、1月27日(土)に出雲市 朱鷺会館に於いて、昨年度に引き続いて島根大学 大学院教育学研究科 原 広治 教授をご講師にお招きし、「苦手や失敗の経験から学ぶこと」と題して研修会を行いました。対象を経験年数3年目までの先生方とし、やり取りを重視する為のグループ演習形式ですが、原先生の柔らかい人柄と境遇に近い先生同士という事もあり、同窓会の様なとても和やかな雰囲気の中で、前年度よりもさらに一歩踏み込んだ内容の濃い研修が行われました。

今まさに悩んでいる事、その解決にはどう向き合えば良いのか。笑顔を沢山交えながら、積極的に自分の言葉で伝え合っておられた姿が印象的でした。

寒波の影響もあり、当日欠席の先生も居られましたが、前年度を上回る65名の参加者を迎え、経験を積むという事の大切さを肌で感じられた研修会となりました。

キャリアアップという事で、今年度保育界は職員の育成について非常に考えさせられた年でした。それはとても重要な事ではありますが、保育士離職を根幹とするものは、保育経験の少ない若い先生方の事であると私は感じております。そして、それに対する国の方針はいまだ不十分なものです。次代を担う若い保育者が、笑顔で保育を語り、子ども達と向き合える様に。資質向上の場だけでなく、青年部で繋がる出会いと語らいが今後の大きな力になる事を信じています。今後も会員の皆様のご理解とご協力をいただけます様よろしくお願い致します。

有限会社 ひかりのくに松江

〒690-0012
松江市古志原3丁目15番64号
TEL (0852) 21-6523
FAX (0852) 21-6520

幼児教育に貢献する
シヤクエツ

教育用品・園児服・遊具
株式会社 シヤクエツ 松江店
松江市東津田町465-6
電話 (0852) 26-5300番
郵便番号 690-0011

広報部

広報「私保連しまね」の発行
・43号 平成29年10月 2日発行
・44号 平成30年 3月15日発行
*原稿のご協力
ありがとうございます。

新鮮な商品に安心・安全をそえてお届けします
乳製品 無添加の和菓子 他

島根中酪
島根中酪株式会社

本 所 出雲市平野町302 電話(0853)22-5300(代) FAX(0853)25-3780
松江 営業所 松江市嫁島町8-5 電話(0852)21-5472 FAX(0852)32-2493
(有)隠岐中酪 隠岐の島町下西谷田103-18 電話(08512)2-2008 FAX(08512)2-2012
西部中酪牛乳販売(有) 益田市安富町1877-1 電話(0856)25-2008 FAX(0856)25-2334

編集後記

いよいよ10年ぶりに改訂された保育所保育指針が平成30年度より実施になります。就学を前に小学校の話題に目を輝かせる年長児を見ていると、改めて幼児期に育てたい姿について考えさせられます。「私保連しまね」第44号をお届けします。数年に一度の大寒波に見舞われ、お忙しい中ご協力頂いた先生方に心より感謝申し上げます。
(美郷町都賀保育園 櫻井 由香里)

調査部 部長 細川 浄

今年度、内閣府より施行された処遇改善Ⅱについては、導入にあたり課題も多く、保育現場に沿ったものなのか物議を醸していました。

そこで、調査部では急遽方針を変更し、この処遇改善Ⅱについて動向及び意識調査を行うことになりました。

各施設、お忙しい最中にもかかわらず、たくさんの貴重な意見、また導入にあたっての課題や解決策などを詳しく教えていただきました。

アンケートの集計結果を見ますと、どの施設も諸手を挙げて歓迎しているものではないことが十分に伝わる内容となりました。

また、大多数の施設が同じ悩みを抱える中、解決法や具体例を私保連に対して求められていることも判明しました。そして、多くの施設が「平等・協働の精神」について言及なさっておられます。本当の意味での保育現場の処遇が改善されなければ、今後の保育士確保や保育の質の向上は果たせません。

よって、今後は行政に改善を訴えていくとともに、各施設が抱える課題についての解決方法などを明示していく必要があるように思います。この結果の周知と、吉田会長をはじめ私保連全体で解決に向けて考えていかなければなりません。皆様からのご意見を無駄にすることなく、しっかり活用させて頂こうと思います。

今回が私にとって初めてのアンケート調査書の作成となりました。

記入方法や設問に至るまでまだまだ未熟な物であり、ご回答いただいた皆様にはご協力いただいた感謝の気持ちでいっぱいです。

アンケートの結果を有意義なものとし、来年度の調査活動に向けてしっかりと反省し、再度皆様からご協力を賜りたいと存じます。ありがとうございました。

平成29年度 研修報告書

研修部 部長 舟谷 法子

9月15日(金) 職員研修 参加者83名
「新保育所保育指針の解説について」 講師：飯田 和也 氏

10月17日(火) 会計研修 参加者82名
「社会福祉法人制度改革と会計の実務」 講師：菅野 哲 氏

1月13日(土) 食育研修 参加者83名
「生きる力を育てよう、料理が教えるもの」 講師：井場 恵美子 氏
～今の子どもたちにたいせつなこと～

今年度もたくさんの職員の皆様にご参加いただき、ありがとうございました。

おかげさまで、どの研修会も有意義な時間を過ごすことができました。

今後も研修内容のいっそうの充実に向け、努力してまいります。よろしくお祈りします。



職員研修



職員研修



食育研修



食育研修

☆幼児の豊かな生活環境をめざす☆

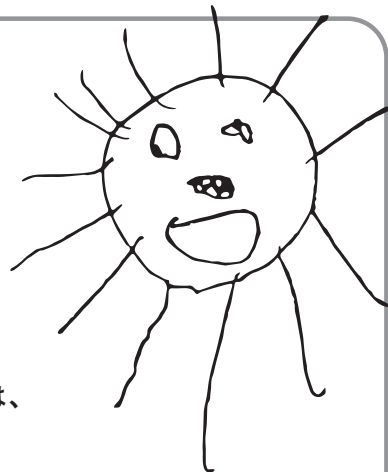
有限会社 松江チャイルド社

本社 〒691-0018 出雲市美談町1195
TEL(0853)63-2800 FAX(0853)63-2621
松江営業所 〒690-0854 松江市南平台16-19
TEL(0852)27-2125 FAX(0853)63-2621

合同会社 益田チャイルド

〒698-0021 益田市幸町8-3
TEL(0856)22-0284 FAX(0856)22-2940

園および園児を さまざまなリスクから サポートします



園経営には、さまざまなリスクが伴います。
(公社)全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、
園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する
各種保険を取り扱っております。



ほいくのほけん

「園賠償責任保険」
「園児団体傷害保険(学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険)」
「特別保育事業賠償責任保険」
など、園経営におけるリスクに関する保険を
ラインナップしています。また、それらを総合的に
補償するセットプランもご用意しております。



園児総合保障
共済制度

園児を24時間補償する共済制度
(総合生活保険(こども総合補償))です。
団体契約による割引の適用で割安な掛金で
補償を確保することができます。

上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。
ご照会は、下記連絡先どうぞ。

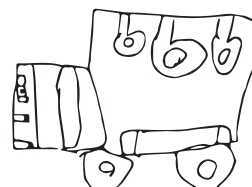
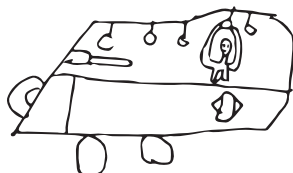
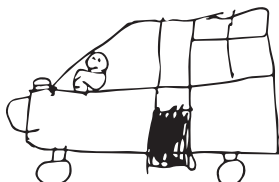
(公社)全国私立保育園連盟指定・東京海上日動火災保険株式会社代理店

有限会社ゼンポ

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館内
TEL 03-3865-3881 FAX 03-3865-2806

〈引受保険会社〉
東京海上日動火災保険株式会社
担当課：公務第二部 文教公務室
TEL：03-3515-4134

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・
学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・総合生活保
険(こども総合補償)の概要についてご紹介したもの
です。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧
ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立
保育園連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不
明点がありましたら、取扱代理店または保険会社まで
お問い合わせください。また、ご加入にあたっては、
必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。



保育リボン

わたしたちは子どもの育ちを支え、
みんなの笑顔があふれる社会を目指します。
(全国私立保育園連盟)



私保達しませNo.44

発行日/平成30年(2018)3月15日
発行者/吉田 哲明

発行所/島根県私立保育園連盟(くもぎ保育園)
編集者/長崎 八重美・海原 泉(広報部)

